

第5回 阿賀野市観光協会設立検討委員会 「会議録」

- 1 日 時 令和7年12月26日 13:00～15:25
- 2 場 所 阿賀野市役所 403会議室（4階）
候補施設見学（笹神支所、リズム・ハウス瓢湖、白鳥の里、水原ふるさと農業歴史資料館）
- 3 委 員 高橋委員長、石塚副委員長、小林和也、荒木風太、齋藤雄介、土井一心太、遠藤和人、小島光広、芋川恵里、
- 4 事務局 商工観光課：牧野課長、酒井課長補佐、田村係長、浅川主任
- 5 傍聴者 0名
- 6 報告
(1) 第4回観光協会設立検討委員会議事録
- 7 議題
(1) 観光協会事務室候補施設見学
(2) 観光協会事務室候補施設について
- 8 その他
- 9 会議の内容
(会議の公開について)

○職員

会議に先立ちまして、本検討委員会は「阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条第1項（公開の基準）にあります、「審議会等の会議は、原則として公開する。」の規定により、公開での開催とさせていただきます。

また、要綱第7条に基づく議事概要は委員の皆さまの氏名を伏せたうえで、発言内容を議事録として公開させていただきます。このため、委員の皆さまの発言内容を録音させていただきますので宜しくお願い致します。

1 開会

○職員

皆様大変お疲れ様でございます。

本日は年末のお忙しい中、またこのように天気が悪く、足元の悪い中、お集まりをいただきまして大変ありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから第5回阿賀野市観光協会設立検討委員会を開催させていただきます。

なお、坂井委員、永松委員、五十嵐委員、商工会の田上事務局からは所用により、本検討委員会を欠席される旨の連絡をいただいておりますので、ご報告を申し上げます。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。

初めに委員長より開会の挨拶をお願いいたします。

2 委員長挨拶

○委員長

足元の悪い中、ご苦勞様です。残すところわずかになってはいますが、この後施設を回り、皆さんから忌憚のない意見を言っていただければと思います。

是非、日ごろ目の届かない部分に気を使っただき、検討できればと思っていますので宜しくお願いします。

○職員

ありがとうございました。それでは、以降の議事進行につきましては委員長より宜しくお願いいたします。

○委員長

それでは、報告事項を事務局から説明をお願いします。

○職員

3. 報告の、第4回観光協会設立検討委員会議事録になりますが、議事録につきましては11月1日付けで検討委員の皆様へメールで照会、確認をさせていただいておりますので、説明を省略させていただきます。

○委員長

ありがとうございます。では続きまして議題について事務局よりお願いいたします。

○職員

それでは議題（1）観光協会事務室候補施設見学について説明をさせていただきます。

第4回検討委員会におきまして、今まで観光協会の事務所について検討いただきました。しかしながら、実際に現場を確認していないため、その事務所のイメージができないという意見がありましたので、今回は皆さんがイメージしやすいように、候補となっている施設を見学していきます。

施設につきましては、お手元の資料に記載してありますとおり、最初に笹神支所、リズム・ハウス瓢湖、白鳥の里、水原ふるさと農業歴史資料館の4ヶ所について、皆様の方から確認をしていただきたいと思います。

また、終わりましたらそれぞれご意見を賜りたいと思いますので宜しくお願いします。

バスを準備してありますので、お手元の資料をお持ちになり、正面玄関の方に移動してください。

【笹神支所】13：20～13：38

○職員

資料に基づき説明。

※検討委員の方々は施設見学

【リズム・ハウス瓢湖】 13:45～14:00

○職員

資料に基づき説明。

※検討委員の方々は施設見学

【白鳥の里】 14:03～14:10

○職員

資料に基づき説明。

※検討委員の方々は施設見学

【水原ふるさと農業歴史資料館】 17:07～14:35

○職員

資料に基づき説明。

※検討委員の方々は施設見学

14:45 403会議室で検討委員会再開

○委員長

ご苦労さまでした。では、事務局から説明をお願いします。

○職員

議題（2）観光協会事務室候補施設についてになります。

今ほど皆さんより観光協会の事務室候補施設ということで、見ていただいた中で意見をいただきながら、優先順位をつけさせていただければと考えております。今回優先順位をつけていただいた施設については、今後管理している部署と調整をさせていただきたいと考えています。これですべて決定というわけではありませんので、それはご承知おきをいただければと思います。

最終的には、今後市長に対し独立についての提言書を提出し、観光協会の総会で皆さんから議決をいただいてから本格的に独立に向けて事務を進める形になります。

それでは今ほど施設の方を見ていただいた中でご意見等いただければと思います。宜しくお願いします。

○委員長

今見ていただいた施設について、いろいろご意見をいただければと思います。

○委員

一番いいのは農業歴史資料館のところではないでしょうか。

○委員長

そうですね。他に意見などありますか。

○委員

とりあえずローコストがキーワードかと思っていて、委員とも話をしたのですが、や

はり兼任できるかどうかというところと、お金が掛からないところ。それを考えると、リズム・ハウス瓢湖とふるさと農業歴史資料館は、指定管理者としての兼任が可能ではないかと思ったのと、その次にお金が掛からないというのは笹神支所。施設全体の鍵開けとかが一緒に出来るのではないかと思います。

順序としては指定管理者と兼任できるかどうか。それと空いている笹神支所のスペースを自分達と行政の皆さんと兼用して使えるかどうかというところかと思います。

○委員長

ありがとうございます。他にご意見はありますか。

委員から話がありましたが、ローコストという部分で考えるか、商工観光課と一緒にすることを考えるのか、どちらを優先で考えるのかで大分考え方違ってきます。

商工観光課と一緒になったほうがいいかと言うと、独立したときに今までやってきた事が継続してできるか。観光協会が独立したとして、そこに経験のない人が3、4人になり、今まで経験のある人は別な場所います。それでは相当大変で、1年ぐらい経過すれば多分それは解消されたとしても大きな課題になります。そのような部分が問題の1つになるかと思いつながら施設を見学していました。その辺も踏まえてご意見があったらお願いします。

○委員

一番は代官所のところかなと思います。観光協会が代官所の受け付け管理も一緒にやっていけばいいし、スペースもかなりある感じもするので、そこをうまく使っていけばもっと人の来れるいい場所にもなると思いました。あとは、修繕費と公園管理事務所の管理に問題がなければ白鳥の里もいいなと思いました。

○委員

修繕費の部分と、商工観光課と観光協会と一緒に仕事ができるという、この2つを充足しているのが笹神支所なので、ここが一番いいのではないかと考えていました。水原ふるさと農業歴史資料館ですが、空いているスペースが使えるということであればいいのですが、もし使えないとなると来客者が来た時の打ち合わせのスペースが無いので、非常にその部分で困るのかなと。

○委員

リズム・ハウス瓢湖は食堂にこだわらなくて、その隣の休憩スペースにパーテーションをして場所を確保する方法もあるのではないのでしょうか。食堂部分については将来的に宿泊を再開した場合を考えると、その場所は確保しておくべきではないかと考えていました。食堂にこだわらないで、使えるスペースがあるのではないかと考えて見してきました。でも、事務所として使用するのであれば、食堂部分になるのかもしれない。

あとは人が来ないところに事務所を置いてもなかなか難しいので、笹神支所もいいですが、わざわざあそこまで行くのかと疑問に思います。事務所だけであればいいのですが、そこに行って訪ねたり、そこまで足を運ぶのかといたら、人が集まっているリズム・ハウス瓢湖であったり、水原ふるさと農業歴史資料館の方がいいのではないかと思います。

○委員

優先順位でいけば農業歴史資料館が一番すぐにできるのではと思ったところと、笹神

支所も商工観光課と連携してという部分ではミニマムでいいと思っていました。

あと白鳥の里もそうですが、リズム・ハウス瓢湖も含めて施設として、指定管理の対応をしながら事務所をやるというのは収益が立ちにくいのではないかなという怖さがあったので、一番手っ取り早く始めるのであれば農業歴史資料館かと。

白鳥の里が問題で引っかかっているのがすごくもったいないなと思いました。

修繕してしまった後、各課のやりとりで、それをどう使うのか、どうだという部分をクリアしてしまえば、白鳥の里でもいいなと思いました。

○委員

やっぱり農業歴史資料館が一番いいかなと思います。一番お金をかけずにスタートできそうなところですね。笹神支所はガラスのドアの隙間風が相当気になりましたし、落ち葉が部屋の中に入ってくるぐらいなので、どうなのかなと思っていました。

白鳥の里は本当に立地として申し分はない。何も問題がなければあそこはベストだと思うのですが、雨漏りの修繕に相当お金がかかりそうだなと思いました。

事情が施設ごとにあって、リズム・ハウス瓢湖も宿泊が始まったという話もありましたけれども、いろんな諸事情を考えれば、農業歴史資料館が一番ベストではないかなと思いました。

○委員

農業歴史資料館の方がまだまだいろいろやれそうだなと。一応、以前に独立しようとしたときに農業歴史資料館を事務所とした経緯も分かった気がしました。市外から来た人も一番気やすいところであると思う。白鳥の里も立地はすごくいいけど問題が多いので、お金かけず始めるのであれば農業歴史資料館がいいと思います。

○副委員長

私も皆さんの意見と一緒になんですが、代官所の隣の農業歴史資料館がいいなと思っていたのですが、それで2点感じるどころがありました。委員長がおっしゃったように商工観光課と一緒にするというと笹神支所。実務を考えると、そういうことも大事だと思うので、前提としては、今の商工観光課職員が1年ぐらい伴走でき、4人なり3人の中に核となるような人が加わるのが一番ベストかと思います。

もう1つは、委員がさっきおっしゃったように、やはりそのメンバーが入ったことによって、農業歴史資料館をもう少し良くできるのではないかな。私は外から来た人間ですが、すごいポテンシャルしか感じないと、すごいリアリティがあるすごくいい場所なので、欠けているものはソフトだと思っています。

新しい観光協会に若いアイデアマンが入って、企画し、例えば月に1回でもいいんですが、人を集めるような企画をすることで相乗効果があり、この先のポテンシャルを感じます。

以上の2点から農業歴史資料館がいいなと思いました。

○委員長

私の意見ですが、農業歴史資料館の一番奥の展示場は使ってないですよ。そこは使用出来ないのですか。やり方次第ですが、あの場所でしたら商工観光課と一緒に入れるスペースもあるし、代官所の来館者が2,500人から2,700人来ているとのことで、指定管理として出来るのであれば、観光協会が独立した場合の収入源として多少なり見込

め、あと付加価値を付ければ、入館料も引き上げることも出来るのでは。現在の300円という金額は引き上げが必要ですが、駐車場が最大のネックだと思います。現在、水原にくる手段は車以外ないので、そこが一番のネックかと感じました。

一番いいのは先ほど言った、奥の展示場の場所を使えるか。あるいは体験コーナーの床を外して土間にし、事務所として商工観光課と一緒にできるのかと思っていました。収入源としての価値も高めることができる可能性と、私からの意見というか要望として、そのあたりが可能なのか。

代官所で着物の貸衣装を着て瓢湖に行ったり、甲冑などを着て写真を撮るのもすごくいいと思う。インバウンドにちょんまげのかつらなんかすごく人気があるのでは。インバウンドには最高の代官所だと思っています。

○職員

皆さんの意見を集約すると白鳥の里も捨てがたいが事情からすると、農業歴史資料館が第一次候補という形でしょうか。

○委員長

例えば、白鳥の里を市が全部直す場合はどうなるんですか。

○職員

現状だと厳しいと思います。

○委員長

別な視点から、瓢湖は年間約20万人の来場。阿賀野市で1番人が集まる施設です。そこに冬場来た人が白鳥の里を開放していれば約7割から8割が寄るでしょう。その中に夏の阿賀野市の魅力を見せることができれば、逆にリピーターを広げるチャンス在白鳥の里は持っている。ただし雨漏りの修繕費が問題。

○職員

雨漏りで200万円、あと空調も200万円、合わせて400万円の修繕費が掛かります。

○委員

これは見積もりを取った金額ですか。

○職員

公園管理事務所で、見積もりを取った金額と聞いてます。

○委員

選択した場所によって、法人化したときに実施する業務内容が変わってくる可能性が高いと思う。旅行業の資格を取って、ツアーとなるコンテンツをこちらで考えて業務でやるのであれば、農業歴史資料館でもいいのかなと思う。

今みたいに商工観光課と一緒にあって、事務局的な動きだけで終始するのであれば笹神支所みたいなこじんまりしているのもあり。どこまでそ野を広げてやるのか、本当に収益を出してやっていくという気概でやるのであれば、農業歴史資料館のような気はします。

それにしても、農業歴史資料館の歴史っていうものを観光コンテンツにしていくとなると、今まで白鳥と瓦と酪農発祥地としてやってきたことに、さらに代官所の魅力を自分達も学ぶ必要があるし、そこを構築しなければいけないのが結構大変だなと思う。あれだ

け内容盛りだくさんな資料館なので、魅力をしっかりと間違えずに伝えて、インバウンドも大事なんですけど、やはり国内の方にも響くようにしていかないと。今インバウンド自体が不安定な状況にあるので、状況を考えると国内外を含めて持続的なコンテンツに仕上がるのかはまだ未知数。

○委員

市役所としては白鳥の里をこのままの状態でも何年も放置していく考えでしょうか。今回観光協会が入ることで、少しお金を投資してもいいという判断はないんですか。

○職員

それはまた相談になると思います。

○委員

それこそ雨漏りがどんどんひどくなっていくわけですよ。

○職員

もう年数も経過していますので、今後使っていけばボロが必ず出てきますし、どこかのタイミングで、仮に今回やった一部の改修でなく、大規模改修となれば億単位の税金を投入するので、その先を考えたときに、市としてどこまで改修するか判断になります。

今ここで400万、500万かけて改修しました。観光協会に貸し出しをします。必ず10年から15年でもっと大きな修繕が必要になるので、全部改修ということになれば、億のお金をかけて修繕するか、観光協会に貸し出さうという話になる可能性もありますが、単純に市が考えるのは、この先がどうなるか。そこに維持管理費が掛かり、合併前に建てた施設が軒並み更新の時期にきているというのが正直なところです。

○委員

そうすると、選択肢は一つしかない。

○職員

白鳥の里はすごく場所的にいいところなので、ゼロではないと思います。ゼロではないと思いますが、もしそこに決定するのであれば、時間はかかると思います。

○委員長

この検討会で目指しているのは来年の提言書の提出で、独立は再来年の2027年ですよ。

○職員

一応イメージはそこです。今回、独立を検討するという委員会になりますので、市長へ独立したほうがいいですよという形になるのか、しないほうがいいですよという形になるのか、皆さんで次回の会議の中で決めていただきますが、今の流れでいけば、もう独立という方向だと思いますので、市長へ来年の3月に観光協会を独立して、事務所をここに構えるような形の方が、ベストですよというような提言書をお渡しできればと考えています。

あくまでも独立については検討委員会の話であって、それを今度は観光協会の総会の中で、会員の皆さんの了解をいただかないと独立することはできません。それが来年の5月か6月の観光協会の総会で会員の皆さんから独立に向けて動いていいですかと会員の皆さんの了解をいただいて初めて、独立に向けて、この間まで協議いただいた定款であったり、事務所の部分であったり、事務の部分であったり、あと大事なお金の部分ということこ

ろが動き始めて、間に合うのであれば2027年4月。独立までの流れは今後調べますが、2027年に独立して、稼働ができればとおおよそのシナリオを描いています。

○委員長

そのための提言書の中の場所。市としては、さきほどからの話の流れを踏まえるとお金は出さないとすると、それで白鳥の里は消える。

○職員

お金を出さないことが決まったわけではないですが。

○副委員長

事務所の案件とは別ですが、私が白鳥の里に行ったときに、施設の終わった感。リゾートマンションが建っていたけど、バブルがはじけて終わったような感じでワクワク感が削がれる感じ。瓢湖についたぞと思ったけど、何か終わった大きい施設あると終わってる感ができて、すごいもったいないと思う。景観はすごく大事なので、これを機に事務所とは関係なく、外側を綺麗にするとか、人の配置するにぎわいと、空気感をすごく大事にしてほしい。ダメもとでもいいので、尝试してみることもいいのではないのでしょうか。何十万人も来る場所なので、財産だと思うのです。

○委員長

纏めるにも、纏めようがないので、次回に今の意見を踏まえて検討させていただきたい。

○職員

今の意見を踏まえて委員長と副委員長と協議をさせていただきながら、次回までに提言書のたたき台をお見せできればと思っています。それでいいでしょうか。

○委員長

そういうことで今日は終わらせていただきたいと思います。

お疲れ様でした。

○職員

最後に5その他になりますが、全体を通してでも構いません。皆様の方から何か確認したいことや質問事項等あればお願いいたします。

事務局より1点だけお伝えさせていただきます。

「阿賀野市観光戦力プラン」を平成20年に策定し、計画期間が5年間で平成20年から25年まで計画がありました。これ以降については「阿賀野市総合計画」の中で管理していくこととし、改めて「観光戦略プラン」は制定していないため、平成25年以降は観光に対して特別プランはありませんでした。しかしながら、今はこのような観光戦力プランが必要ではないかとの動きがあります。観光協会の中でも独立に向けて動いていることから、次回以降になるかもしれませんが、皆さんからご意見等もいただければと考えていますので宜しく申し上げます。

それでは、6閉会になりますが、大変長らくありがとうございました。

委員長ありがとうございました。また、委員の皆様も寒い中施設を見学いただき、また、審議をいただきありがとうございました。

なお、第6回の検討委員会につきましては、1月末頃に開催を予定し、市長への提言書の内容を審議していただきたいと思います。改めて日程調整をさせていただきます

ので宜しくお願いします。

以上をもちまして、第5回の阿賀野市観光協会設立検討委員会を終わります。